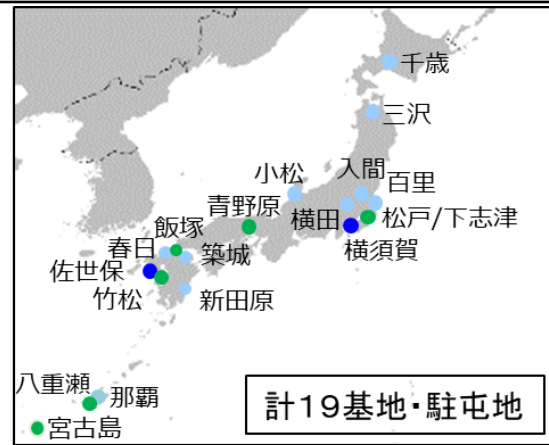


令和5年度日米共同統合防空・ミサイル防衛訓練について

項 目		内 容
訓練目的		日米共同統合防空・ミサイル防衛訓練は、国内の防空、ミサイル防衛に必要な自衛隊の統合運用能力及び日米共同対処能力の向上を図るために実施します。
訓練の沿革		訓練は、平成29年度から日米共同統合訓練として実施しており、本年度で7回目となります。
訓練の日程		令和6年2月16日(金)、2月19日(月)～22日(木)(5日間)
訓練実施場所	陸自	松戸駐屯地、下志津駐屯地、青野原駐屯地、飯塚駐屯地、竹松駐屯地、宮古島駐屯地及び八重瀬分屯地
	海自	横須賀地区及び佐世保地区
	空自	千歳基地、三沢基地、横田基地、入間基地、百里基地、小松基地、春日基地、築城基地、新田原基地及び那覇基地
参加部隊等		自衛隊: 統合幕僚監部、陸上総隊、東部方面隊、中部方面隊、西部方面隊、陸上自衛隊高射学校 自衛艦隊及び航空総隊 米 軍: 第94防空ミサイル防衛司令部、第7艦隊司令部、第5空軍、第1海兵航空団
訓練の内容		各部隊が保有するシミュレーション装置を相互に接続し、所在基地内の各部隊指揮所等で弾道ミサイル等に対する対応訓練を行うものです。 なお、豪軍がオブザーバーとして参加予定です。



【訓練のイメージ】

ネットワーク環境における シミュレーション訓練

